

3R+Renewableとは?

3R+Renewable (リニューアブル)は、従来から推奨されてきた、ごみを減らす3つの取り組み「3R」(リデュース、リユース、リサイクル)に、再生可能な資源に切り替える取り組み「Renewable」を加えたものです。日々の生活の中で、3R+Renewableを意識して、できることを実践しましょう。

<p>Reduce リデュース ごみを減らす</p>	<p>Reuse リユース 繰り返し使う</p>	<p>Recycle リサイクル 資源として再利用する</p>	<p>+</p>	<p>Renewable リニューアブル 再生可能資源^{*1}に替える <small>※1 紙やバイオマスプラスチックなどの再生可能な素材</small></p>
---	---	--	-----------------	---

<p>えらんで</p>  <p>エコなプラスチック製品^{*2}や再生可能資源を使った製品を選ぼう</p>	<p>減らして</p>  <p>使い捨てプラスチックごみを減らそう</p>	<p>リサイクル</p>  <p>プラスチック製品は分別してリサイクルに協力しよう</p>
---	---	---

※2 簡易包装の商品、部品を再使用した商品など

正しく分別できていますか?

プラスチックをはじめ、いろいろな素材をリサイクルするためには、きちんと分別してごみに出すことが重要です。

容器包装についている識別マークを確認し、お住まいの市町村のルールに従って分別しましょう。



プラスチックのリサイクル方法

家庭などから集められたプラスチックごみは、リサイクル工場で原料として生まれ変わります。リサイクル方法は、主に次の3種類です。

種類	方法	何になる?
マテリアルリサイクル	プラスチックを溶かして原料に戻し、新しい製品を作ります。	プリンター、ごみ袋、水切りネットなど
ケミカルリサイクル	プラスチックに化学処理をして別の素材にします。	ガス、コークス炉の化学原料など
サーマルリサイクル	プラスチックの焼却時に発生する熱を、エネルギーとして利用します。	発電、暖房、固形燃料など

ごみ拾いSNSで楽しくごみ拾い

県は、海洋プラスチックごみの原因となる街のごみを減らす取り組みとして、ごみ拾いSNS「ピリカ」と連動した、ごみ拾い見える化ウェブページ「クリーンアップみやぎ」を公開しています。

「ピリカ」では、ごみ拾い活動の様子を投稿したり、活動に対するコメントや「ありがとう」の気持ちを送り合ったりすることができます。また、「クリーンアップみやぎ」では、県内のごみ拾い参加者数やごみ回収量ランキングなどの情報を見ることができます。

ごみ問題を自分ごととして考えるきっかけ、そして、感謝の輪を広げていくために、ご自身や地域、職場などで取り組まれている清掃活動の際に、ぜひご活用ください。

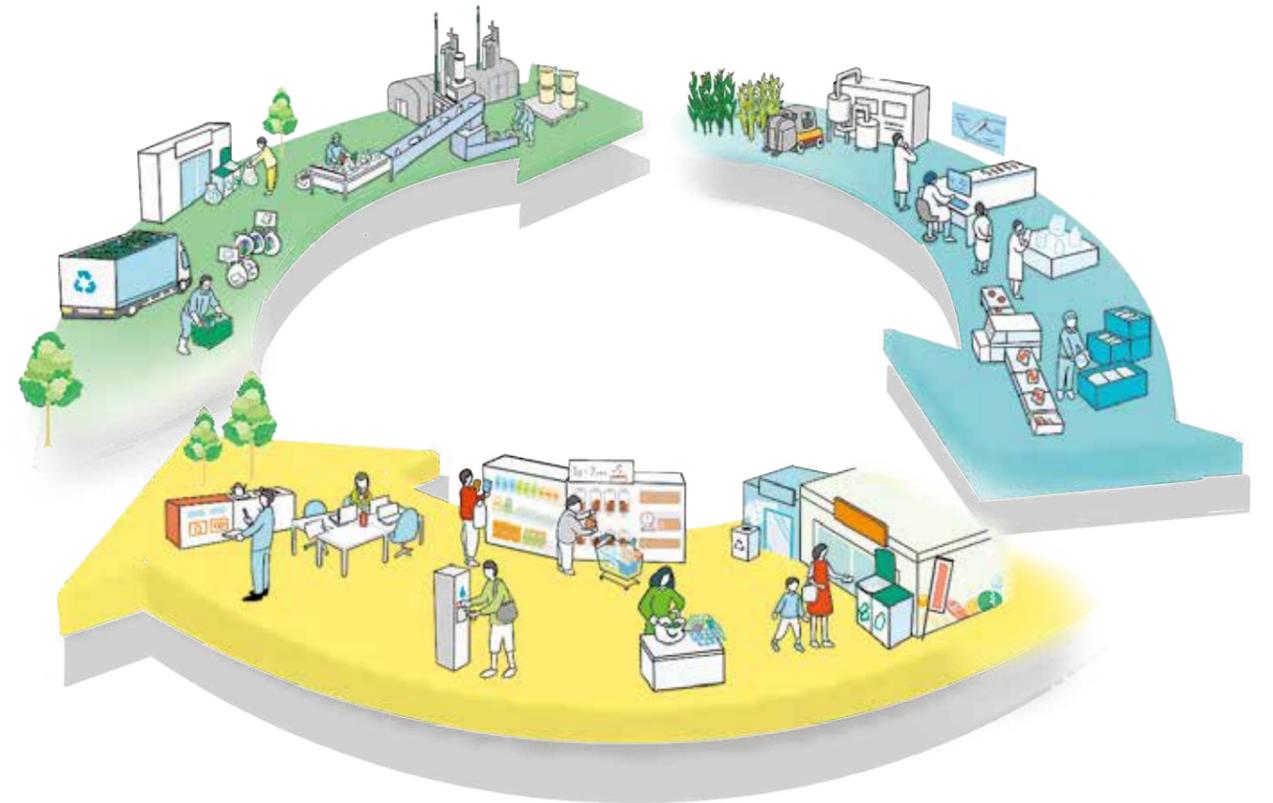


「クリーンアップみやぎ」はこちら

「ピリカ」のダウンロードはこちら

循環型社会推進課 ☎022(211)2649

プラスチックは えらんで、減らして、リサイクル



私たちの生活のあらゆる場面で利用されているプラスチック。プラスチックは、軽くて丈夫で加工がしやすいことから、さまざまな製品や容器包装などに幅広く使われている一方で、海洋汚染や気候変動などの環境問題の原因にもなっています。

地球環境を守るために、私たちはプラスチックごみの問題とどう向き合っていけばいいのでしょうか?

プラスチックの資源循環に向けて

キーワードは
「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」

海洋プラスチックごみによる環境汚染問題などを背景に、2022年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。この法律は、プラスチック製品の設計から排出・回収・リサイクルに至るまで、プラスチックのライフサイクル全般に関わる消費者、事業者、国・自治体などが連携して、プラスチックの資源循環の取り組み「3R+Renewable (リニューアブル)」を促進することを目的としています。

一人一人の小さな取り組みの積み重ねが、プラスチックの資源循環につながります。「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」に、積極的なご協力をお願いします。

海のプラスチックごみ問題

2050年の海は
魚よりもごみの方が多くなる?

街中でのポイ捨てや不適切に処分されたプラスチックごみは、雨や風によって河川に入り、海に流れ出てしまいます。毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出しており、海の中には既に1億5000万トンのごみがあるとの報告もあります。

プラスチックは自然界で分解されにくく、海に残り続けるため、2050年にはその重さが海にいる魚全体の重さを上回ると予測されています。プラスチックごみによる海洋汚染は、生態系だけでなく、生活環境、漁業、観光などへの悪影響が懸念されており、世界的な問題となっています。

参考 The New Plastics Economy Rethinking the future of plastics (2016年1月 世界経済フォーラム)より